

# 上毛

7 こうげ町広報 JULY 2012 VOL.81

CONTENTS

- 町の掲示板 ..... 2
- 町の話 ..... 12
- know「農」 ..... 14
- カルチャー ..... 15
- 町の情報ひろば ..... 16
- 素敵人 ..... 18
- こうげマンが行く! ..... 18



町の花(春)桜

町の花(秋)コスモス

町の木 梅

編集発行／上毛町役場企画情報課  
〒871-0092 福岡県上毛町大字垂水1-3-2-11  
TEL 0979-723111  
FAX 0979-724664

印刷／第印刷株式会社

## 人の動き

5月31日現在

- 人口 8,063 (±0)
- 男性 3,812 (+4)
- 女性 4,251 (-4)
- 世帯数 3,095 (+4)

## 参考

平成17年10月11日合併時

- 人口 8,499
- 世帯数 3,057

## ごみの量

5月31日現在

- 可燃ごみ 144.80t (+5.24t)
- カン・ペットボトル 3.22t (+0.39t)
- びん 4.16t (+0.12t)
- 古紙他 17.77t (-1.81t)
- 可燃粗大 3.35t (+0.36t)
- 不燃 7.92t (-2.44t)
- プラスチック製容器包装 1.89t (-0.49t)
- 紙パック、白色トレイ 0.06t (+0.02t)

※( )内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。

## I will miss you Koge Town! With love, Shirin!

Hello!  
For the past 3 years, I have lived and taught English in your beautiful Koge Town. Sadly the time has come for me to go home! Recently I started feeling settled into life in Japan, speaking Japanese, and eating Japanese food so I really don't want to leave, but 'the adventure must end sometime'! I have met so many wonderful people here. So many people took me into their homes, introduced me to real Japanese culture or took me sightseeing! At school, I was very lucky to teach very polite and kind students, and I hope that through learning English with me, you were inspired to go abroad, study and enjoy English! If I have inspired even a few of you, I am very happy! I hope that like me, you will one day have the chance to travel or work abroad and experience a different culture. Living and working abroad is an eye-opening experience, and one I am grateful for. It helps us understand the world outside of our own country and daily life. Our language and citizenship may be different, but we are all citizens of this world and in that respect, we are all the same. Beyond Japan too, is an exciting world that awaits and welcomes you, so I hope you reach out and discover it! I am grateful for the experiences I have received in your beautiful Japan, and I hope that one day you will come and experience the beauty of Australia! Please come to my house! Finally, I would like to thank the always hard-working and kind teachers I worked with, all the staff at Town Hall who were like my family in Japan, my friends, and most importantly, my students. I learned so much from all of you, and I believe it has made me a better person. Thank you for everything. It is very hard to say goodbye, but I will surely visit Koge Town again, so please don't forget me! I will miss you Koge Town! With love, Shirin!

こんにちは!  
私は、この三年間、皆さんのきれいな上毛町に住んで、英語を教えてきました。残念ながらこの7月で大好きな上毛町を去ることになりました。最近、日本の生活や日本語や日本の食べ物に慣れてきたので本当に帰りたくないけど、「冒険はいつか終わらないといけない」ので仕方がないです。私は上毛町でたくさんの素晴らしい人々に出会いました。多くの人は自分の家に連れて行ってってくれて、本物の日本文化を見せてくれたり、色んな所を案内してくれたりしました。学校では、とても礼儀正しく親切な生徒を教えることができて非常に幸せでした。私と英語を勉強したことにより、ちょっとインスピレーションを感じて、いつか海外に行ったり、英語を楽しく勉強したりすることを希望しています。生徒の皆さんも私のようにいつか旅行や仕事で海外に行つて、異文化を経験するチャンスをもらうことを希望しています。海外で仕事や生活するのは本当に目を見張るような素晴らしい経験なので、日本に来るチャンスをもらえてとても感謝しています。違う国で生活すれば、自分の毎日の生活や自分の国の周りの世界がもっと分かるようになります。言葉や国籍は違うかもしれないけれど、みんなこの世界の住民なので、その点はすべて同じです。日本の向こうにも刺激的な世界がきっとあります。私は、美しい日本でもらった経験に感謝しています。そして皆さんにもいつかオーストラリアの美しさを経験してほしいと思います! 私の家に是非来て下さい! 最後に、いつも一生懸命頑張っている学校の先生方や、日本での家族のように接してくれた役場の皆さん方や友達、そして特に今まで教えた生徒達に心を込めて「ありがとう」を伝えたいです。皆さんから色んなことを学び、「自分はさらに成長できたな」と思っています。いろいろありがとうございました。「さよなら」を言うのはとても辛いですが、必ずいつか上毛町に帰って来ますので、私のことを忘れないでください! 上毛町が大好きです! ありがとうございます!  
—Shirinより!



平成21年8月から3年間、外国語指導助手として保育園や小中学校での英語の指導をはじめ、様々なかかわり交流してきたサネ・シリンさん。地域と皆さんの思い出を胸に、オーストラリアに帰国します。



## 新吉富保育所 夏やさい



### こうげマンが行く!

ごずてんのう 牛頭天王ととべら祭

今月の訪問地 垂水

イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

山国川  
垂水  
八坂神社  
牛頭天王公園  
友枝川

ごずてんのう 牛頭天王はインドの祇園精舎の守り神なんだけど、仏教が日本に伝えられると、須佐之男命という日本の神様と同じ神様のことだと考えられるようになったんだよ。

牛頭天王は、疫病をあやつる神様なんだって!

むかし、牛頭天王(須佐之男命)は旅の途中で困っていたところを蘇民将来という男の人に助けってもらったんだって。そのお礼として「蘇民将来子孫也(蘇民将来の子孫である)」と書いた御札を貼れば疫病から守ると約束したんだそうなんだ。そのお話が「蘇民将来伝説」として広がると牛頭天王は日本中で盛んに信仰されるようになったんだって。

でも明治時代になって神仏分離がおこなわれると、神社での仏式行事や「牛頭天王」「祇園」などの仏教語を使用することが禁止されたんだ。だから牛頭天王を祀る祇園社、天王社は須佐之男命を祀る八坂神社に名前を変えさせられたそうだよ。だから今では牛頭天王として祀る寺社はとっても少なく、地名として残っているところはほとんどないそうだよ。

7月7日には牛頭天王公園の八坂神社でトベラ祭が行われているよ。トベラの木を門や玄関先に置くと、疫病から守られるという言い伝えがあるから、今年は是非行ってみてね。